

平成 21 年度 市民による行政改革委員会の活動報告書

中津川市長 大山耕二様

昨年度に引き続き「市民による行政改革委員会」は、「職員が行う行政改革を見守るお目付け役」として活動を行ってきました。市が取り組んでいる行政改革全般について意見、助言を行い、それに対する市の対応を本書のとおりまとめましたので、報告いたします。

● ロードマップ全般について

改革の具体的項目 144 項目中、「完了」及び「予定通り進捗している」項目が 103 項目(約 71.5%)と初年度としては良く実行されています。尚、遅れている項目は原因を追究し、スケジュールや業務を見直して、計画的に取り組んでいって下さい。

ロードマップは行政改革の内容と進捗状況が市役所の内外でよく見えるようになり、非常に良い取り組みですので、この報告書の意見等を基に、より改革実績が分かりやすいように改善して継続すべきです。

● 市役所改革について

市役所改革の仕掛けは「市役所改革推進本部の設置」「火付け作戦」「仕事の見える化」「事務改善活動」等で実を結びつつありますが、今後は更なる管理職の指導力及び職員自身の能力と意欲を向上させ、改革の成果をあげて下さい。そして「より少ない予算と人員でより良いサービスを提供できる市役所」へ邁進して頂きたい。

市民による行政改革委員会 委員長 古田三五

◆委員会の主な意見等及びそれに対する市の対応

① 行政改革のロードマップ（工程表）についての意見等

意見提出時	市民による行政改革委員会の意見等	市の対応
第 1 回 第 2 回 第 4 回 委員会	(一)少なくとも半年に一回は 実績のチェック を行うこと。 (二)スケジュールの各年度に目標、行う事を入れること。 各年度に何を行うか を明確にすること。 (三)大幅に遅れているものについては、行政改革推進課との調整が随時必要である。遅れているものもあるが、 全体として改革の状況がよく見えるようになり、1年目として良い。管理だけでは駄目なので、強力に行革を進めてもらいたい。	(一)平成 22 年 1 月に平成 21 年 12 月末現在、平成 22 年 3 月に 21 年度見込みの状況を確認する。 (二) 目標の数値化を進め、 取り組み内容も具体的なものにした。 (三)平成 22 年 1 月及び 3 月に進捗状況の確認を行い、 大幅に遅れているものについては、原因や対策について話し合っている。
第 1 回 第 4 回 委員会	(一) 誰がどのように責任を持って実行するか を明確にして欲しい。また職員の意欲、やる気で実行して頂きたい。 (二) 表という見える形で表すというやり方は、やらざるを得なくなり、評価できる。	(一)ロードマップの項目や目標、スケジュールは各部署において設定した。 担当課及び担当者 を表で明確にすることにより責任をはっきりとさせた。
第 3 回 委員会	(一)IT 化を進めるにあたり 分かりやすく、費用対効果のある IT 化 を期待する。 (二)パソコンが職員一人一台で事務の効率化となっている。もっと 情報の共有化 を進めて欲しい。 (三)改革の指揮取りにも現場をよく見る必要がある。 各部署をよく見て回り、一緒にルーチン削減の方法 を探して欲しい。 (一)公の施設の見直しでは、まず、 本当にその施設が必要か を考えるべき。 (一)市民協働では、 地域住民の力を上手に結集し、協働のやり方、マニュアル作り、どう仕掛けていくか が大事だ。	(一)情報交通課に IT 化推進係が設置され、職員の手による 分かりやすい IT 化、経費を抑えた IT 化 を進めている。 (二)また、かやの木 NET やコミュニティポータルを利用して、情報の共有化に努めている。 (三)ルーチンの削減に向けて、行政改革推進課や IT 化推進係が 現場を見たり、職員の声を聞いたり するようにしている。 (一)施設所管課において、 市民の声を聞き、抜本的に必要性を考える。 指定管理者制度の導入では、民間の力の導入を推進している。 (一)区長会やボランティア団体と連絡を密にし、行政の一翼を担って頂いている。また協働の基本指針を策定中である。
第 4 回 委員会	(一)市有地の売却は使っていないような小さい施設、使用頻度の低いものなど優先順位を出す。借地は買い取ってしまうのが一番良い。 目標年度をしっかりと定め、実行 すること。 (一) ロードマップにより市役所の課題全体が見えてくる。 ただ、管理項目少々多いので、もっと絞って管理をしても良い。	(一)資産管理対策監を配置し、市有財産利活用基本方針を定め、一部の市有地の売却や借地の買い取りは進めている。全市的な計画は出来ていない。 (一)平成 22 年 4 月に見直しを行う。各部、各課で課題を再検証のうえ、ロードマップの改革項目を点検し、平成 22 年 5 月に「ロードマップ 2010」を作成する。

② 火付け作戦についての意見、助言

意見提出時	市民による行政改革委員会の意見等	市の対応
第3回 第4回 委員会	(一)臨時職員の割合が大きい。 業務のIT化や事業自体のスクラップで業務量を減らして欲しい。	(一)事務のIT化や事業のスクラップは今後も各部署にて進めるよう進捗管理を行う。臨時職員については政策の進捗に合わせ減らしていく。
	(一)業務を効率化して、必要な仕事に軸足を置くようにしていくこと。 上司のマネージメントが大切。企画・立案できる人材を育てること。 (二) 政策の説明責任 を果たしていくこと。	(一) 火付け作戦の展開により、業務の効率化を進め、職員養成方針を作成し、職員の企画力等をアップする。 (二)広報なかつがわ(平成21年8月号)において担当課名と政策項目を発表した。また市ホームページ(平成21年10月)でも公表している。

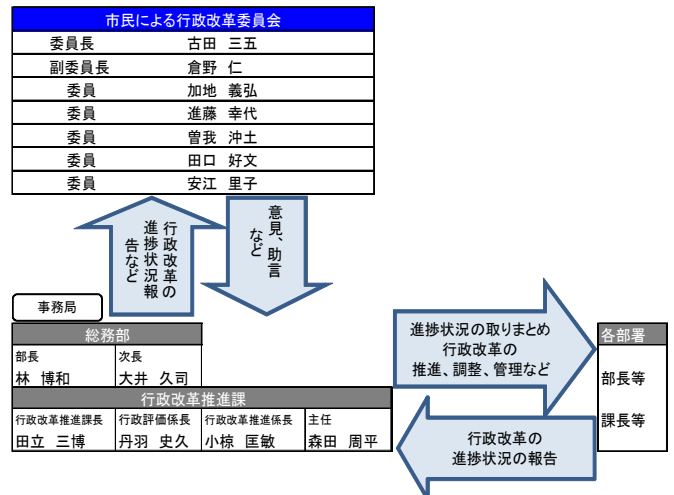
③ 各種団体と行政の関与のあり方(案)についての意見、助言

意見提出時	市民による行政改革委員会の意見等	市の対応
第4回 委員会	(一) 方向性は良いので、市民や各種団体によく理解をしてもらい、経過措置も設け対処 していくこと。	(一)各担当課において、所管課としての方針をそれぞれの団体について出してもらっている。 平成23年度までを目標に、各団体に納得してもらえよう協議し、関与を改める。

◆市民による行政改革委員名簿及び組織図

(任期：平成21年5月28日～平成22年3月31日)

氏名	役職	性別	地区
ふるた さんご 古田 三五	委員長	男	中津
くらの ひとし 倉野 仁	副委員長	男	中津
かち よしひろ 加地 義弘	委員	男	付知
しんどう ゆきよ 進藤 幸代	委員	女	中津
そが おきと 曾我 沖土	委員	男	坂下
たぐち よしふみ 田口 好文	委員	男	加子母
やすえ さとこ 安江 里子	委員	女	中津



◆活動概要

委員会名	開催日	協議事項など
第1回委員会	H21. 5. 28	ロードマップの改革項目について
第2回委員会	H21. 8. 6	ロードマップの内容について
第3回委員会	H21. 8. 17	ロードマップの内容について
第4回委員会	H22. 1. 28	ロードマップ、火付け作戦進捗について、各種団体のあり方について
報告会	H22. 3. 30	市長への報告及び意見交換会

※ロードマップ；改革を着実に進めるための工程表であり、手順、方法、スケジュールを示すものです。

※火付け作戦；モデルとなる課を選定して、業務の徹底的な見直し(スクラップ)を進めて、政策課題に取り組み(ビルド)、成果を示して他の課へ広めていくものです。

中津川市 市民による行政改革委員会 報告書

発行：市民による行政改革委員会

発行日：平成22年3月30日

編集：市民による行政改革委員会

事務局：中津川市総務部行政改革推進課